

くにみ 議会だより

KUNIMI

No.202

3月議会号

議会だよりは
議会ホームページからも
ご覧になれます



日本人に合うシチリア料理を再現!!

渋谷朝洋さんは、藤田駅前のアカリ1F「トラットリア ダマルティエーノ」で個性を活かした経営を考え、地元野菜や素材の開拓に取り組んでいる。

3月定例会

思いつなく予算「一人一人の声を大切に、
思いに寄り添い、思いをつなぐ」
(令和6年度当初予算) P2

町道5号舗装修繕工事費等を補正(令和5年度補正予算) — P13
一般質問
(7人の議員が登壇し、活発な議論を展開) — P15
常任委員会レポート — P23

発行●福島県国見町議会 編集●議会広報常任委員会 発行日●令和6年(2024年)4月26日

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二一番7 TEL.024(585)3295 FAX.024(585)2181 <https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>

一般会計61億円

つなぐ予算

大切に、思いに寄り添い、思いをつなぐ

令和6年度一般会計当初予算

一人一人の思いに寄り添い
国見に暮らす幸せを実感できる
まちづくりのための予算を計上

令和6年度一般会計当初
予算は61億円で、前年度に
比べ2億円(3.4%)増と
なり、全員賛成で可決しま
した。

第6次国見町総合計画
の4年目である令和6年度
は、基本理念である「命を大
切に 誰もが幸せに暮らす

まちくみにみ」を実現するた
めの「6つのまちづくり」推
進とともに、令和4年度に
策定された「国見町過疎地域
持続的発展計画」に基づく各
種事業の推進により、持続
可能な地域社会と地域活力
向上の実現を目指します。

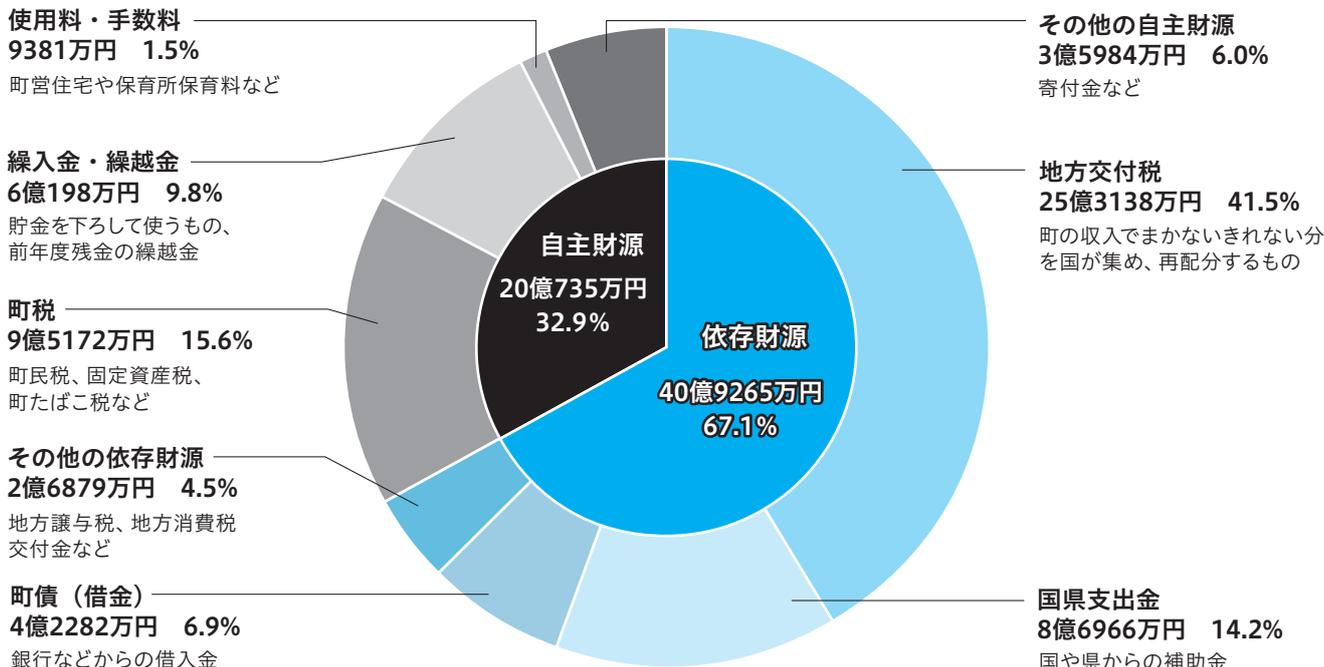
歳出

健やかに暮らせるまちづくり

- 集団検診事業
- 予防接種事業
- 乳幼児健診事業

2103万円
3628万円
253万円

歳入 61億円





令和6年度予算で修繕予定の徳江大橋

令和6年度 思い 一人一人の声を

安心・安全な優しいまちづくり

- 徳江大橋等橋梁補修工事 2億3000万円
- 町道4号線改良舗装事業 1億1000万円
- 防犯灯LED化事業 2000万円

未来につながるまちづくり

- 国見小学校等空調整備事業(設計) 1181万円
- ICT支援員配置事業 600万円
- 幼小中学校入園入学祝金 423万円

恵まれた資源を活かしたまちづくり

- 農業振興事業 2822万円
- 地域おこし協力隊事業(農業部門) 2025万円
- 道の駅第2駐車場整備事業(設計) 100万円

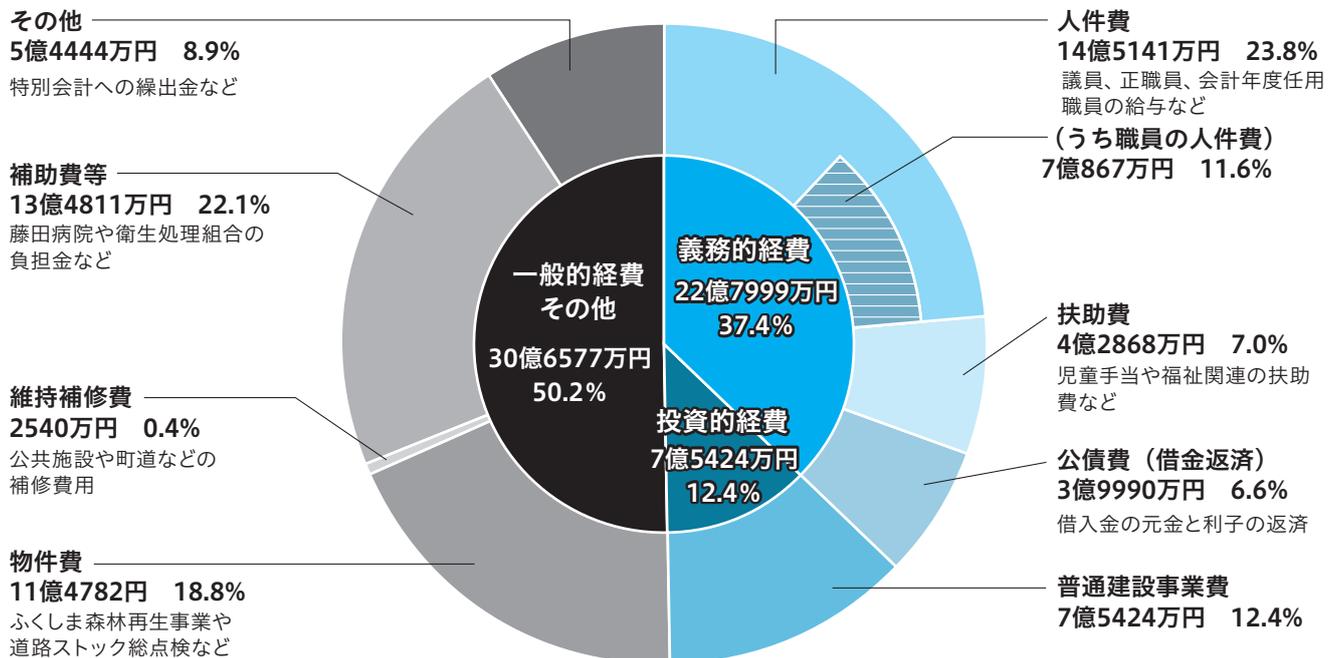
相互理解と共感のあるまちづくり

- ふるさと納税事業 2億1100万円
- 消防団アシストアプリ導入 79万円
- コンビニ交付事業 225万円

まちとして生きるまちづくり

- 地域おこし協力隊事業(企画部門) 1429万円
- 移住・起業・新規就業支援等補助金 1860万円
- 地域プロモーション事業 1280万円

歳出 61億円



国見版C-1策定委員会は、その成果についてゼロベースからもう一度検証する

当初予算の主な質疑

令和6年度 一般会計予算

や、町外向けにはインスタグラム等を活用して入居募集を行っていく。

大坂リノベーション 住宅の進捗について

問

(渡辺勝弘議員)

行政財産使用料で、総額141万6000円を計上しているが、現在の入居状況について伺う。

企画調整課長

4戸中3戸が入居していたが、2戸が退去となった。よって現在1戸のみ入居。今後の対策として、ホームページへの空き状況掲載

70周年記念事業について

問

(蒲倉 孝議員)

この事業は招待者もいると思う。また、観月台文化センター30周年記念事業も計画されており、式典会場は観月台文化センターホールを使用すると思うが、招待客を呼ぶ式典を行う計画しても観月台公園の修繕を行わないのか伺う。

総務課長

観月台公園は、駅前開発と合わせて立地適正化計画の下に、都市再生計画等々の事業を活用しながら実施していきたい。

問

(佐藤 孝議員)

この事業を義経まつり実行委員会が決めるにしても、司令塔である町が決めていかなければならないと思う。公園と同じようにバラバラになっ

令和6年度各会計当初予算

会計名	令和6年度 当初予算	前年度対比		
		増減額	増減率	
一般会計	61億円	2億円	3.4%	
特別会計	国民健康保険	10億2428万円	△2334万円	△2.2%
	介護保険	14億8086万円	△1132万円	△0.8%
	後期高齢者医療	1億7412万円	1566万円	9.9%
	土地開発事業	0.4万円	0万円	0%
	湯水対策施設	1087万円	△133万円	△10.9%
	入山財産区	27万円	2万円	6.8%
	大木戸財産区	15万円	△1万円	△5.6%
石母田財産区	619万円	501万円	425.2%	

水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億4300万円	2億4593万円
資本的収支	4181万円	9644万円

※資本的収支の差は損益勘定留保資金、減債積立金で補います。

下水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億1220万円	2億1033万円
資本的収支	6890万円	1億5001万円

※資本的収支の差は消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補います。

る。70周年記念事業がメインだとすれば、一元管理し、そこから今年の事業は冠を付け調整していくのではないかと伺う。

総務課長

お質しのとおり、60周年の時もそのように行った。当初予算が確定した段階で、町が基本的な委員会的なものを立ち上げ、各会各層を集めての実行委員会等を組織する段階でいる。喫緊のうちに、実行委員会の中で事業及び

問

(渡辺勝弘議員)

冠も含め、指針として決定していく。

年も過ぎたということ、私が生まれる前の話だと思

うが、町民の皆さまのタンスの中に眠っている当時の写真などを集め、記念として残すものを作るべきではないかと思うかがか。

総務課長

素晴らしいご提案だと思うが、労力は

■ 町債(借金)の予算上見込

会計名	令和5年度末 残高	令和6年度末 残高見込
一般会計	58億3728万円	60億7067万円

■ 基金(貯金)の残高

会計名	令和5年度末 残高	令和6年度末 残高見込
財政調整基金	8億6526万円	5億6528万円
復興基金	1億492万円	4992万円
ふるさと 振興基金	1億7038万円	1億6652万円
その他の基金 (一般会計)	8億7149万円	8億819万円
基金総額 (一般会計)	20億1205万円	15億8991万円

問 (蒲倉 孝議員)
国見版C-1策定は、委託料として980万円計上されている。私は、意見書を提出したが、ポスターを2年間かけて作り、

国見版C-1策定検討委員会について

かかると思われる。また、70周年の機会にやるべきか、総務課、公民館・図書館、どこで行うのかも含めて、今後検討の余地は残しておきたい。

また、1000万円の税金を業者へ丸投げするのかわう。

企画調整課長 様々な意見を町民の方々から

いただいている。中身については、もう一度検証し、1つに限らず見直しをしながらアウトプットについて考えていく。

※C-1とは
企業の特徴や個性、理念などを体系だてて整理し、簡潔に提示したもの

問

(小林聖治議員)

昨年11月21日第4

回策定検討委員会の協議事項に、パーティ・フーが作成したプレゼン資料に、「寄り町STAY国見町」というフレーズが出されている。このフレーズによく似たものが、長崎県雲仙市のまちづくり団体で、斎藤委員長が以前、雲仙市のアドバイザーを務めていた時の、「寄りまち」というフレーズだったと記憶しているがいかがか。

企画調整課長

似たようなフレーズがあったというの、フレーズを作成した段階で業者が類似しないかを確認し、似たようなものがあると報告はあったが、中身については全く違うので問題ないと伺っている。

問

(佐藤 孝議員)

くにも学園構想と同じようにゼロベースからもう一度検証することは分かったが、審査基準をプロポーザルではなくて、具体

的な成果品を出させるコンペ方式の採用を検討すべきと思うがいかがか。

企画調整課長 今後の進め方

らゆる方法を検討したいと考えており、コンペ方式は有効な手段と考えている。また、町民に広く意見を伺い、理解を得ながら進めたいと考えており、検討委員会とも協議しながら進めて行く。

防犯灯LED化
設置事業について

問

(山崎健吉議員)

現在ある防犯灯の

うち蛍光灯のものを6年度と7年度ですべて交換する計画とのことだが、防犯灯と街路灯の位置づけについて伺う。

住民防災課長 街路に設置し

ているのは街路灯で、商店街については商工会が管理。町道107号線(むさしや坂)から駅前までについては建設課が管理。その他、住宅街等の防犯灯は住民防災課で管理している。

問

(山崎健吉議員)

省エネについて、今回のLED化により電料の節約はどのくらい見込めるか伺う。

住民防災課長 電気料はおおよそ3分の1。

また、蛍光灯は2年に1回更新に対し、LEDは蛍光灯の3倍長期に使用出来る見込みである。

トータル的に考え、脱炭素事業債も活用していく。



職員の研修について

(佐藤 孝議員)

問

町民から、どうも

役所はガバナンスが効いていないという声を聞く。私も率直にそう感じている。

職員としての順法精神、

あるいはその倫理観を含めて基礎的な研修をもう一度行うべきと思うがいかがか。

総務課長

役所の研修は、新採用職員が自治研修

センターでの春・秋2回の宿泊で研修を受講している。公務員としての倫理観や順法に係るもの、あるいは接遇等の研修を受け、入职した日には憲法の精神に則り宣誓も行っている。

また、昨年度はハラスメント対策研修も行った。安全衛生委員会出てくる。パワハラ、セクハラ、モラハラなど、ハラスメント研修が大きな比重を占め増えている。

来年度は、安全衛生委員会で議論をしながら、管理

職向け及び一般職員向けにどのように行うか検討していく。

ももたんパスについて

問

(渡辺勝弘議員)

町長としては、ま

ちなかタクシーをどのように展開していく考えなのか、あるいは、ももたんパスという2つの事業を併用して行くという考えを持っているのか。

町長

これまで通り並列

でいくのか、どちらか一つにまとめるのかは、使いやすいのはどちらかといった利用者の視点に立つて色々と判断しなければならぬと思う。

また、いきいきサロンに参加している方々の話を聞くと、登録されている方がいる一方、事業について詳しいことを理解していない方々もいるので、周知と合わせて、中身の検討を協議しなければならぬと考えている。

国見案内人活動について

(松浦常雄議員)

問

案内人は以前、30

名を超えており、歴史の町を標榜していた。

案内人を養成するという

ことは、非常に大切と思うが、研修をどのように行う考えなのか伺う。

企画調整課長

募集をしているが、集まらないのが現状。国見案内人

に関わらず、歴史関係・イベント等でご協力いただいている方や、歴史を支えるような方が、年々減少している。

町の良さを発信するには、非常に重要な部分と考えており、研修を行いながら人材の確保を、町内・町外限らず行っていく。また、研修については、年1回行う予定でいる。

ヘルプマークについて

(佐藤 孝議員)

問

大規模災害が発生

すると、どうしても障害者、高齢者あるいは子ども、そういった方々が災害弱者になつてしまう。

包帯を巻いてる方など、見た目で分かる方は支援・援助出来るが、例えば内臓疾患、精神疾患、視覚障害者、聴覚障害者などの方々は見た目では全くわからない。

ヘルプマークは自己防衛であり、着用品促進は行政の一つの仕事だと思うが、広報の他に、町としての施策を伺う。

福祉課長

現在、年2回広報

等でヘルプマーク着用促進を行っているが、それと合わせて今後は、高齢者が集ういきいきサロン等での広報活動を進めていく。

総合計画 認定こども園について

(佐藤 孝議員)

問

子育て環境を整備

するという意味では、極めて重要視されている政策の1つの病児・病後児保育。

国見町では、認定こども園の構想が総合計画に謳われ書かれている。ぜひ、今後の議論で、認定こども園ではどうするかを議論に入れてほしい。

キャパシティの関係も当然議論になると思うが、町の考えを伺う。

教育長

キャパシティ

や部屋とか広さの課題だけではなくて、人の配置が必要になってくる場合がある。特に病児保育の場合は、看護師、さらには調理師等も必要になる場合があり課題とされている。

国見町は、伊達市の認定こども園に広域連携でお願いしている。

新しく認定こども園の議

論になった時には、その部分も含めて検討されると考える。

ごみ減量化対策 事業について

問 (宍戸武志議員)
福島県は、1人当たりのごみ排出量が3年連続全国ワースト2位となっている。対策として、コンポスト配布等を行い、一定期間のごみの減量効果、削減効果を数値化することに取り組む。

当町では、備品購入20万円を計上しているが、具体的な施策について伺う。

住民防災 家庭用生ごみ処理機を数台購入し、モニターの方に一定期間調べていただき、効果や削減量、使い勝手等について検証し、広く調査結果を配信することにより、利用効果や有用性について周知し、ごみ減量化の意識の高揚を図りたいと考えている。

問 (宍戸武志議員)
当町の1人当たり年間ごみ排出にかかる経費はいくらか伺う。

住民防災 令和6年2月現在の住民基本台帳人口8180人から、回収費用を含め1人当たり9305円となる。

問 (蒲倉 孝議員)
家庭用生ごみ処理機、ハイブリッド型1台、乾燥型を2〜3台とのことだが、その台数でモニターのデータになるのか。補正予算の検討の余地はあるのか伺う。

それぞれの家庭で自主的に購入した時に、こういった補助が必要なのか、そういったところも考えながらの検討を始め、補正に関してはモニターの方々の意見を聞き、その上で補正が必要な場合には補正予算も検討し、いろいろ財源も活用し対応したい。

各種予防接種について

問 (佐藤 孝議員)
新型コロナウイルス・季節性のインフルエンザ予防接種の具体的な公費負担、補助の案について伺う。

ほけん 現行のインフルエンザは、高齢者が1400円の負担で実施しており、新型コロナワクチンは1400円〜2000円程度と考えている。

なお、実際の接種費用は当初、国で1人当たり7000円程度ということだったが、最近になり少し接種費用が上がるのではないかという情報も入っている。

問 (佐藤 孝議員)
新規事業の带状疱疹ワクチンについて、具体的に対象や個人負担がどうなっているか伺う。

ほけん 带状疱疹ワクチン助成の詳細は未定だが、先進市町村等の状況を見て、助成額等を要綱等で決めていきたい。対象者についても、国では50歳以上ということも推奨しているが、この部分についても、近隣及び先進市町村の状況を見て決めていきたい。

ほけん 带状疱疹ワクチン助成の詳細は未定だが、先進市町村等の状況を見て、助成額等を要綱等で決めていきたい。

対象者についても、国では50歳以上ということも推奨しているが、この部分についても、近隣及び先進市町村の状況を見て決めていきたい。

問 (佐藤 孝議員)
小児インフルエンザの助成を、1回から2回に増やすという説明を受けているが、対象範囲はどうなるか伺う。

ほけん 現在、12歳以下の対象者約450人がおり、実際の接種者は200人程度と考えている。

農産物のPR 事業について

問 (佐藤 孝議員)
農家の方々に登録していただき、品物を出してもらおう。実際にPRに行

けなくても、生産者の等身大パネルを用意し、東京、大阪、北海道などに持参すれば、生産者に余計な負担をかけなくても、生産者と消費者が繋がっていくと思うが、検討出来ないか伺う。

産業振興 いただいた提案は、非常に有効と考えるので、可能であれば、新年度から取り組みを検討していきたい。



農産物PR事業(写真は道の駅国見あつかしの郷で開催しているマルシェ)

農業ビジネス 訓練所について

問

(渡辺勝弘議員)

農業をする上で一番やるべきことは、土づくりだと思っている。地区的にこういう作物が適しているというような、マップ等を作成する考えはあるか伺う。

産業振興課長

どの土地にどのような作物が適しているかどうか土壌診断を行って、その診断結果を踏まえて土づくりから始めるといったことを、伊達農業普及所などと連携しながら進めていきたいと考えている。

また、JAふくしま未来で、来年度くらいに土壌の分析センターを整備する計画があるので、最大限有効に活用し、国見町のこの地区にはこの作物が適しているというマップづくりを検討していく。

DIY教室について

問

(松浦常雄議員)

DIY教室とは、どのような内容か伺う。

産業振興課長

DIY教室は、例年1月に親月台文化センターの大研修室で開催している大人向けの木育教室。町民のみならず、木を使った椅子や棚等を製作していただく事業である。



大人向け木育として開催しているDIY教室

道の駅推進事業について

問

(山崎健吉議員)

駐車場工事実施設計として100万円計上されているが、第2駐車場はどこに作るのか伺う。

産業振興課長

駐車場予定地は、国道4号線とくみにみ農業ビジネス訓練所の間にある三角の土地で、平成30年度に町が取得していたもの。現時点では、約70台程度の駐車区画を見込んでいる。

国見サービスエリア あまでのバイパス 道路について

問

(蒲倉 孝議員)

徳江大橋ほか修繕工事費用が計上されており、貝田地区町道の調査業務も含まれると説明があった。

国見サービスエリア附近のJRを横断する道路について、進捗及び予算計上は

ないが、現在どうなっているのか伺う。

建設課長

現在計画している国見サービスエリアまでのバイパス道路は、JRの線路を跨ぐか下を通すか、いずれかを想定しており、現在JRとの協議を進めているが、時間を要している状況である。



貝田サービスエリアへ向かう町道4007号の日照田橋梁

町内会要望について

問

(佐藤 孝議員)

一時期、各地区に予算配分し、優先順位を付けていたと思う。基準を明確化する必要があると思うがいかがか。

建設課長

基準のマニュアル等の必要性、また実効性について、検討したい。

地域防災マナー ジャーについて

問

(佐藤 孝議員)

今定例会一般質問の町長答弁で、「職種、前職、前歴やら何やら、自衛隊を退役された人が本当にいいのかなのかという、イデオロギー的なところも含めて反対をする意見があり進まなかった。」と採用しなかった理由を述べている。

地方公務員法第13条の趣旨に反する差別的な発言だと思うが、このことを原則

に防災マネージャーの選考を行ったのか伺う。

町長

一つの事例として申し上げただけであって、実際に自治体の中には防災マネージャー、危機管理官のようなそういった身分の方を職員として採用し、実際に防災に充てている自治体もあり、そういった例を参考に検討したものであり、決して差別的な発言ではない。内容について、様々な意見があったという一つの例を話したものである。

学校給食事業について

問

(小林聖治議員)

令和6年度の学校給食事業の概要について、地方債として3000万円計上されている。給食無償化事業債として、過疎債を継続的に次年度以降も活用していくのか伺う。

総務課長

過疎債のソフト事業に当たる。ソフト事業に該当するものであれ

ば、財源充当であり何に充当しても構わないということになる。

給食の無償化事業については、メインの政策でもあるので充当したものの。以前の財源は、ふるさと振興基金とか色々あったが、町の施策として優先度の高い順にソフト事業として充当したものである。



町内の幼稚園から中学校まで給食を提供している国見町給食センター

こども家庭センターについて

問

(佐藤 孝議員)

保健師は専門職であり、人材確保も難しいが、令和7年度以降の保健師、栄養士、病児・病後児保育のこともあり看護師等も含めた専門職のマンパワー配置、これについてはしっかりとした計画を作成した方が良いと思うかがか。

総務課長

保健師は、現時点で5名いる。令和6年度に保健師の資格を持った方を新採用として1名採用し、計6名になる予定。国の施策による状況もあるもので、その都度採用していくことになる。

今後こういった業務が、子育て支援専門職として必要となる時代になっていく。新採用、さらには、社会人枠にこだわらず優秀な人材を、資格職・一般事務職も含め、検討していかざるを得ないと考えている。

問

(佐藤 孝議員)

こども家庭センターは、子育て世代包括支援センター機能と子ども家庭総合支援拠点機能、これを一新して新たにこども家庭センター制度を作ると。これはこども家庭庁の概要でも明らかになっている。

現在実施している業務の、何をこども家庭センターに移行するのか、また人的配置はどうなっていくのか伺う。

福祉課長

令和4年6月に改訂された児童福祉法の一部改正により、令和6年4月までにこども家庭センター設置が努力義務とされている。こども家庭センターは、母子保健と児童福祉の専門的な知識を有する職員がそれぞれ連携協力しながら、子どもとその家庭に寄り添ったきめ細やかな支援の提供を切れ目なく行うこととしており、児童及び妊産婦の相談等をはじめとする業務を行う。配置される職員は、保健師などの専門職の配置等を

予定している。

ひとり親医療費支援について

問

(佐藤 孝議員)

個人負担が1か月1000円で50世帯として、月5万円の支出。年間60万円の支援で大きな子育て支援施策ができる。議論してもらえないか。

町長

この事業は県の事業であり、国見町に該当するかどうか、また町の財政負担が大丈夫かどうか。

4月以降、色々子ども関係の取り組みも変わることもあるので、それと合わせて給付とサービス、この両面から検討を続け、6年度中には結論を出したいと思う。

令和6年度予算編成の考え方

基本理念：命を大切に 誰もが幸せに暮らすまち くにみ

健やかに暮らせる
まちづくり

安心・安全な優しい
まちづくり

未来につながる
まちづくり

恵まれた資源を
活かしたまちづくり

相互理解と共感の
あるまちづくり

まちとして生きる
まちづくり

+

国見町過疎地域
持続的発展計画

総合計画の「6つのまちづくり」と過疎計画の推進で

「思いつなぐ」を実現



みなさんからの 請願

3月定例会では請願1件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

請 願	提 出 者	結 果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋誠一	採択

※議長は採決に
参加しない。

委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。
議会で諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

3月定例会では意見書1件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

福島県最低賃金の引き上げ
と早期発効を求める意見書

中小・零細企業の労務費の適切な価格転嫁、低賃金・長時間労働問題解決及び福島県の人口流出抑制策として、最低賃金の引き上げと早期発効を求めるもの。

可決
(全員賛成)

条例制定

職員の休業に関する条例を追加

国見町職員の修学部
分休業に関する条例

国見町職員の自己啓発
等休業に関する条例

国見町職員の配偶者同
行休業に関する条例

(要旨) 地方公務員法の規定に基づき、能力の向上・開発や女性登用の促進、子育て等の両立支援に関し必要な事項を定める。

(全員賛成で可決)

条例改正

国見町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(要旨) 職員の昇給基準、及び管理職員特別管理手当の改訂を行うもの

問 (山崎健吉議員)
現行の55歳の職員

については来年度からは勤務成績により町長が定めるところにより2号棒じやなくてその上もあるという解釈でいいか。

総務課長 55歳を超える職員は最大で2号である。

55歳までは4号が基本になる。

(全員賛成で可決)

空き家等所有者の責務を強化

国見町空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例の一部を改正する条例

(要旨) 空き家等対策の推進に関する特別措置法の改正に伴い、空き家等所有者の責務の強化について改正する。

問 (穴戸武志議員)
現行の適切な管理

努力に加え、国、自治体の施策に協力する、努力義務の追加ということが。

建設課長 所有者の責務の強化、町の責務を特措

法が改正されたことから定めるものである。

問 (山崎健吉議員)
空き家、及び特定

空き家は何件あるのか。

建設課長 現在、特定空き家は認定している空き

家はない。空き家は戸建て

住宅で173軒ある。

(全員賛成で可決)

以下の議案は全て全員賛成で可決されました。

- 国見町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例
- 国見町会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 国見町債権者管理条例の一部を改正する条例
- 国見町介護保険条例の一部を改正する条例
- 国見町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 国見町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 国見町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 国見町水道条例の一部を改正する条例

援方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例



訴えの提起について

(内容) 第三者行為(交通事故)による介護給付費の損害賠償請求の未払いについて支払いを求める訴えを提起するもの

(相手方) 青森県八戸市大字妙字西ノ平7番地1
北部運送株式会社

○事故の内容

当町において自転車走行中の被害者に対し大型トラックが追突した。過失割合は被害者が20、加害者が80である。

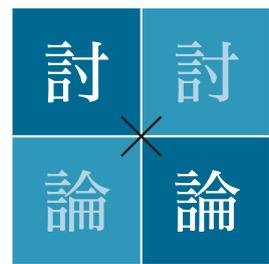
一般議案

問

(渡辺勝弘議員) 保険会社当事者間の争いではなく、なぜ町が裁判をおこなうのか。

福祉課長

国保連合会は賠償金の請求並びに受領については町から委任をしているが、訴訟については国保連合は行えないため町が訴訟人となる。



反対討論

(矢野武志議員)

保険会社のやりとりとか中身、経過等がわからない。よって本案には反対する。

賛成討論

(渡辺勝弘議員)

本案は町が訴えの提起をすることにより被害者の権利が履行されるものであり賛成する。

(賛成多数で可決)

議会モニターをはじめました

国見町議会では、議会の運営全般について町民の声を取り入れるため、令和6年1月より「議会モニター会議」を発足しました。これまでに1月、3月の2回開催し、定例会傍聴の感想など様々な意見交換を行っております。

今後も定期的に会議を開催し、「議会の見える化」に努めてまいります。

国見町議会モニター委員

- | | |
|-----------------|--------------|
| 前列左から | 後列左から |
| ・松浦万助 (大木戸地区) | ・新井文英 (大枝地区) |
| ・高村正博 (大木戸地区) | ・大石純夫 (藤田地区) |
| ・吉田 茂 (森江野地区) | ・齋藤一巳 (藤田地区) |
| ・遠藤一夫 (小坂地区、円内) | |

(任期) 令和6年1月1日から12月31日まで



議案審議結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されました。

議案等	議員名	議決結果	佐藤多真恵	菊地勝芳	佐藤孝	蒲倉孝	八巻喜治郎	矢野武志	山崎健吉	小林聖治	渡辺勝弘	松浦常雄
議案第20号 訴えの提起について		可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
発議第2号 高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会の経費に関する決議		可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 □：討論者 ※議長(佐藤定男)は採決に加わらない。

令和5年度一般会計補正予算(第7号)

町道5号舗装修繕

工事費等を補正

令和5年度一般会計補正予算(第7号)は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ2億2480万円を減額し、予算総額65億5289万円とすることを全員賛成で可決しました。

補正増とする主な歳出は、主な事業は、公共施設整備基金積立、文教公共施設整備基金積立、公立藤田病院組合負担金、農村環境整備事業実施計画策定(泉田雨沼地区)、久保田川堆積土砂撤去等工事、くにみ幼稚園火災報知設備改修工事、町道5号線舗装修繕工事などです。

質疑

問

(松浦常雄議員)

町道4号道路橋梁費4607万6000円と大きく減額になっているが、その理由は。

交付金の配分が確定したことによるもの。

建設課長

町道改良にかかる事業費2路線で国の

問

(佐藤 孝議員)

繰出金の減額(加

令和5年度国見町国民健康保険特別会計補正(第3号)

令和5年度一般会計補正予算(第7号)のおもな内容

【主な事業】

・事務適正化第三者委員会委員報酬	33万円
・公共施設整備基金積立金	3004万円
・生活バス路線維持補助金	47万円
・定額減税対応システム改修	314万円
・住民基本台帳システム改修	384万円
・第三者行為による損害賠償請求に係る訴訟業務委託	150万円
・デイサービスセンター施設修繕工事	135万円
・子どもクラブ簡易更衣室設置工事	40万円
・公立藤田病院組合負担金	2009万円
・新規就農者育成総合対策補助金	110万円
・農村環境整備事業実施計画(泉田雨沼地区)策定委託料	1750万円
・道の駅指定管理料(電気料高騰分)	470万円
・町道5号舗装修繕工事	600万円
・久保田川堆積土砂撤去及び雑木伐採等工事費	800万円
・令和6年度幼稚園入園・小中学校入学記念品	350万円
・くにみ幼稚園火災報知設備改修工事	700万円
・文教施設整備基金積立金	3004万円
【予算に計上済みだが、令和6年度に繰り越しが決定した主な事業】	
◎観月台公園改修基本計画策定事業	550万円
◎低所得世帯等への臨時特別給付金事業	8401万円
◎泉田・鳥取地区森林整備事業	2980万円
◎デジタル同報系防災行政無線施設更新	1億1600万円
◎くにみ幼稚園火災報知設備改修工事	700万円
◎観月台文化センター照明LED化事業	1億3468万円
◎観月台文化センターファンコイルユニット更新事業	1700万円

算)について。当初予算では、受検者見込に対して一律10%ないし20%を加算しているのか、それとも検査項目によって余裕を持たせているのか。

は、受検者見込に対して一律10%ないし20%を加算しているのか、それとも検査項目によって余裕を持たせているのか。

ほけん 課長 予算では、それぞれ項目に応じて余裕分を見て計上している。

問

(佐藤 孝議員)

今回の減額には、目標をクリアできなかった分も含まれているのか、それとも、大きく余裕をとっていた分が余ったのか。

ほけん 課長 当初から多めに計上していた分について不要となったため。今回減額するもの。

問

(蒲倉 孝議員)

当年度未処分利益剰余金が66万4035円。令和4年度の決算額678万4035円と比べて差額612万円減っているが、何が変わっているのか。

令和5年度国見町水道事業会計補正予算(第3号)

課 上下水道 まず人口減少に伴う水道使用料の減、2つ目に営業費用で具体的には水道の維持管理費用の減価償却費が281万7000円の増。さらに漏水の修繕費用251万7000円などが増加したため。

その後2月3月に発生した漏水の修繕費が約300万ほど嵩んだため。

問 (蒲倉 孝議員) 減価償却費約300万は何が増えたのか。何かを購入しないことには減価償却しないはずだが。

課 上下水道 泉田・泉田下簡易水道の布設替えに伴うポンプ場や配水池の設置などの工事費の積み上げが減価償却費として、今になって増えてきたため。

問 (佐藤 孝議員) 水道料金の未納について、滞納件数・金額を教えてください。

課 上下水道 過年度・現年度合わせて、昨年度1月末では45件で、73万5163円。今年度1月末現在では31件で36万7266円。

問 (佐藤 孝議員) 水道料金の未納について、滞納件数・金額を教えてください。

課 上下水道 昨年度1月末、過年度分は14件で24万3082円。現年度分が31件で49万2081円。今年度1月末現在では、過年度分が10件で16万6640円。現年度分が21件で20万6266円。

問 (佐藤 孝議員) 現年度分と過年度分の内訳は。

課 上下水道 令和4年度3月補正予算を算定した時期が1月であり、

問 (蒲倉 孝議員) 昨年4月の補正予算の金額と決算で347万8847円の差額が出ているが。

課 上下水道 令和4年度3月補正予算を算定した時期が1月であり、

一部事務組合報告
※一部事務組合とは複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

補正予算・条例改正について審議
伊達地方消防組合議会
12月21日に開催された第5回臨時会では、補正予算および条例改正1件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。
(報告者 小林聖治)

令和6年度当初予算を可決
福島地方水道用水供給企業団議会
(自然の水を浄化し、水道水として国見町、福島市、桑折町など3市3町に提供する事務組合)
2月22日、企業団議会定例会が開催され、令和6年度当初予算および条例改正1件について審議され、いずれも原案どおり可決されました。
(報告者 佐藤定男)

伊達地方衛生処理組合議会
12月26日に第3回臨時会が開催され、条例改正2件、補正予算3件が審議され、

公立藤田病院組合議会
12月25日、第4回臨時会が開催され、条例改正1件、補正予算1件について審議され、いずれも原案どおり可決されました。
(報告者 渡辺勝弘)

人事

次の委員の選任について同意しました。

固定資産評価審査委員

奥山 宏氏(宮町北・再任)

選任理由 令和6年3月31日任期満了のため

大木戸入山財産区管理委員

佐藤 利光氏(貝田・新任)

高橋 正志氏(貝田・再任)

谷津 隆幸氏(山根・再任)

松浦 守氏(大木戸・再任)

佐藤 幸裕氏(高城・新任)

渡部 勝利氏(高城・再任)

小林 喜勝氏(原町・再任)

選任理由 令和6年3月20日任期満了のため

～7人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般
質問

3月定例会

議員	質問事項	ページ
宍戸 武志	当町のごみリサイクルとごみ減量策について	16
山崎 健吉	当町の避難場所と国民保護法による避難施設について	17
松浦 常雄	大震災等に対する防災対策の充実について	18
小林 聖治	町内会要望への対応について	19
	中長期の財政計画について	
	国見町の観光振興について	
八巻喜治郎	国見町の農業と農業後継者等の確保について	20
蒲倉 孝	認定こども園の整備について	21
	道の駅「あつかしの郷」の駐車場整備について	
	観月台文化センターの改善について	
渡辺 勝弘	歴史的風致維持向上計画による現況と今後の取り組み方について	22
	地震に備える自治体と町民との協議の必要性について	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

Q 当町のごみリサイクルとごみ減量策について

A 町民の皆様のご理解の下で、ごみ排出削減を徹底する



岡戸武志議員

ごみ減量の対策は、徹底したごみの分別収集に伴うごみのリサイクル向上とされている。

問 当日のごみ排出量はいくらか。ごみ処理料は年間一人当たり換算するといくらか。

住民防災課 課長 一般家庭より排出されるごみは令和4年度、一人1日当たり825g、ごみ処理経費は伊達地方衛生処理組合（以下、組合）への負担金は年間一人当たり約4570円である。

問 当町の過去5年のごみ排出量の推移と将来の予測について伺う。

住民防災課 課長 家庭ごみ当たり搬出量は、平成30年度684gから令和4年度は825gと増加傾向にある。組合の予測では、令和7年度736g、令和12年度は705gとみている。

問 環境省が2021年度に公表した一般廃棄物リサイクル率は全国平均で19.9%である。リサイクル率はいくらか伺う。

問 環境省が2021年度に公表した一般廃棄物リサイクル率は全国平均で19.9%である。リサイクル率はいくらか伺う。

住民防災課 課長 当町のごみリサイクル率は、令和2年度の数値で13.10%である。

問 当町におけるごみ排出削減策を伺う。

住民防災課 課長 指定有料ゴミ袋を導入・ペットボトルとびん類の分別・プラスチック製品を資源物として分別回収。資源物回収では、報奨金制度を導入している。

問 ごみの減量方法、町による周知徹底について伺う。

住民防災課 課長 当町では、生活環境推進委員会を中心に分別方法の指導。また、町では希望があれば説明会を行う。細かな分別方法については、ごみ分別ハンドブックを配布している。

問 ごみの減量化やリサイクルの意識を高める啓蒙活動の対象は、児童生徒にも必要ではないか伺う。

教育総務課 課長 廃棄物処理事業についての学習が義務化されている。また、授業では、ごみ減量化やごみのリサイクルについて、実態に即した学びを進めている。

問 自治体によっては、家庭ごみの処理機等への費用補助制度を導入している。当町での補助制度はどうなっているのか伺う。

住民防災課 課長 家庭用生ごみ処理機等の補助は行っていない。次年度に、ごみ処理機の有用性を検証するため、予算を計上している。

問 SDGsの1環として、ごみを減らそう！3R+2R。ごみの減量策が推奨されている。当町の考えを伺う。

住民防災課 課長 当町でも、ごみの3R（発生抑制、再利用、再生利用）を推進し、ごみの減量化・資源化を図る。ごみの分別区分を徹底することで更に資源化の向上を図る。



Q 当町の避難所と国民保護法による避難施設は

A 速やかに避難するには分散避難も必要 避難施設は国の責任で実施すべき

問 能登半島地震が発生し、改めて当町の避難所について伺う。

容人数については、その時の体制により明確に出来ない。

課 住民防災 町の指定避難所は19ヶ所で、約4000人が収容可能。また福祉避難所については、国見町デイサービスセンター等4施設ある。収

問 コロナ禍もあり、4年間避難訓練が行われなかったが、訓練の必要性について町の考えは。

町長 4年間訓練できなかったこと

問 藤田地区の避難所が観月文化センター体育館の解体により国見小学校に移されたが、その検証と、分散避難は検討したのか。

課 住民防災 速やかに避難するには分散避難も必要と考えている。今後、地区自主防災会等と協議して行く。

問 解体された観月文化センターを主目的に、多目的施設を検討してはどうか。

町長 解体された更地については、駅前開発・観月文化センター体育館跡地・町道も含め総合的に判断したい。

問 国民保護法による避難施設（シェルター）は、当町はどこを指定しているのか。

課 住民防災 県は、現在の、爆風等の緊急一時避難施設として、観月文化センター・県北中学校・国見こどもクラブ・くにみ幼稚園・国見小学校・あつかし歴史館の6ヶ所を指定している。



国見インター地下道

課 住民防災 町の防災計画では、震度4の場合は警戒態勢をと

により、日本も緊迫していることは報道により承知の事と思う。国、県はそれを踏まえ、市町村に避難施設（シェルター）を指定をしている。県は新たに、国見インターチェンジの地下道を追加した。町の考えを伺う。

町長 国民保護法を制定したのは国であり、その義務を守るのも国だ。避難施設をつくるときの財源的な担保があれば、建設は進むものと思う。

り、関係職員が町内の状況確認を行い対応する。震度5では特別警戒配備で全課長が参集し、各インフラ部局も対応する。災害の状況より災害対策本部を設置する。震度6弱以上は非常配備とし、全職員が対応することとしている。

問 地区防災マネージャーの採用について、定例会の答弁で検討するとのことであったが。

町長 専門的知識と経験を持っていく人々の採用については、検討を進めてきた。今後もしっかり検討していく。



山崎健吉議員

問 近年、近隣諸国の軍事力増強

問 災害発生時の職員の対応が事前に周知されていると、町民に安心感があると思うが町の体制

Q 大震災に対する防災対策の充実について

A 防災備品の充実に努めている



松浦常雄議員

れるアルファ化米や、カンパン、防災ゼリー、ライスクッキーを保管している。

問 食料品や飲料水の保管量の基準は、どうなっているのか。

の。

問 避難所の運営について、避難者の把握は、どのようにするのか。

避難者名簿により把握している。

の。

問 食品や飲料水など消費期限が切れているものは、どのように更新や処分をするのか。

決まっているものは、どのように更新や処分をするのか。

課長 以前は、防災訓練時に参加者へ配布していたが、昨年は廃棄処分した。今年度は、3月に希望する町民に配布している。

課長 避難者について、避難者の把握は、どのようにするのか。

避難者について、避難者名簿により把握している。

問 避難者への情報の伝達や指示、また、避難者の出入りを把握するには、組織的な活動が必要である。これについてはどうするのか。

避難者への情報の伝達や指示、避難者の出入りの把握は、町と自主防災会が連携して対応している。

課長 避難者への情報の伝達や指示、避難者の出入りの把握は、町と自主防災会が連携して対応している。

避難者への情報の伝達や指示、避難者の出入りの把握は、町と自主防災会が連携して対応している。



町内各地区にある防災倉庫

問 町内で耐震基準を満たしていない住宅等の数は、どのくらいか。また、それについての対策はあるのか。

建設課長 現在把握している住宅数は、令和5年度末で木造住宅576軒である。また、対策としては、昭和56年以前に建築された木造住宅に対し、耐震診断、耐震改修の補助を行っている。

2019年の水害の時、避難解除が出されないうちに、多くの避難者が勝手に自宅へ帰ったということがあった。阿武隈川の水位がまだ高く、極めて危険であった。このようなことが起きないようにするには、どうするのか。

課長 地区の自主防災会組織を活用し、避難解除の指示が出るまで、避

避難者への情報の伝達や指示、避難者の出入りの把握は、町と自主防災会が連携して対応している。

問 大震災が発生した場合、避難者が最も多いのは、藤田地区である。

藤田地区の防災倉庫はいくつか。

課長 観月台文化センターと役場と石母田の3ヶ所である。

問 町内各地区の防災倉庫には、どのような備品が保管されているのか。

担架や車椅子をはじめ、め、投光器、発電機、毛布、防災救急セット、給水タンク、また、ペットボトル飲料水や食料も配備されており、お湯や水を注げば食べら

観月台文化センターと役場と石母田の3ヶ所である。

観月台文化センターと役場と石母田の3ヶ所である。

Q 町内会の要望事項箇所について、すべて実現できるのか

A 要望に沿える形で実施に努めている

問 町内会要望に対する予算計上の優先順位について、どのように決められたのか。

町内会要望に
対する予算計上の優先順位について、どのように決められたのか。

建設課長 は、通学路を最優先として交通量・危険度など、水路については、水が使われているいわゆる受益面積、また整備の効果等を考

中長期の財政計画について

問 人口減少の中で、プライマリーバランスを保持した財政規律は重要だと思

うが、どのような認識でいるのか。

考慮しているところであり、要望を受けてからの経過年数も加味している。

問 自治体の行政機能が分捕られないためには、総合計画における中長期的な財政計画が必要だと思

うが、現在、財政計画をもってしているのか。

総務課長 財政再建が必要

な団体については、財政健全化計画の策定が義務化されているが、国見町においては、そのような状況

にはなっていないことから、そういうものはない。

問 私は、プライマリーバランスを失った予算編成が続いていると感じているが、この予算は持続可能な予算であると考えているのか。

私は、プライマリーバランスを失った予算編成が続いていると感じているが、この予算は持続可能な予算であると考えているのか。

総務課長 予算編成時点

でのプライマリーバランスについては、一般的に赤字というものが当然の結果であろうと考えている。決算においてその予算を超えて事業を執行することは制度上あり得ないことから、財政規律を遵守して毎年黒字の結果となつて

いるため、国見町の財政については持続可能であるかと考えている。

阿津賀志山、観月台公園などの有効活用について

問 桜の名所である観月台公園の復旧について、計画を策定中とのことだが、いつ着手するのか。

桜の名所である観月台公園の復旧について、計画を策定中とのことだが、いつ着手するのか。

総務課長 改修の基本計画については、

財政的な支援がなければ進められない事業と考えている。事業の採択を目指すうえで、駅前の再整備と観月台公園までのエリア、観月台文化センター建物も含めたエリアを一体とした、全体的な町のグランドデザインを含め

問 町のシンボルである阿津賀志山展望台からの眺望は素晴らしいものがあるが町の観光にどのように活かすのか。

産業振興課長 昭和49年10月に展望台を設置してから、約50年近くが経過し老朽化が激しいため、今年度展望台の解体に必要な実施設計を発注した。一方、阿津賀志山頂は、展望台設置後の昭和56年3月14日に阿津賀志山防壁の一部として史跡の指定を受けているため、今後史跡指定の一部が解除されなければ、新たに展望台を設置することができない状況となっている。



大枝地区の米づくりに欠かせない幸徳水路



小林聖治議員

Q 町の農業に対する支援の取り組みは

A くみに農業ビジネス訓練所や各種施策を活用し、新規就農者の増加につなげる



八巻喜治郎議員

ている。また、就農時に必要な機械購入の補助、貸付金制度や離農者の農機具を有効活用するためのマッチング事業等にも取り組んでいる。農業委員会と連携して農地を円滑に回転、継承出来るよう取り組みを進めていく。

問 農業従事者の高齢化が進み、農業離れにより休耕地等に対する対策は進んでいるか伺う。

農業離れにより休耕地等、耕作放棄される農地等に対する対策は進んでいるか伺う。

産業振興 農業経営課 長 基盤強化促進法が改正され、来年3月までに次の耕作者

を予め決めておく目標地図、10年後の地域農業の設計図の作成が義務づけられた。今後は各地域で、今後の地域農業のあり方や農地の有効活用について話し合いの場を設け期限内に目標地図を作成できるように進めていく。

問 くみに農業ビジネス訓練所の現状について伺う。

今年度の農業ビジネス訓練所のうち1人が国見町に移住定住して4月から就農予定となっている。

来年度の長期研修生は、現時点で2人を予定。平成30年に訓練所が開所して以降、今年度末も含めると5人が国見町で新規就農し、世帯人数にすると15人が国見町に移り住む

ど、訓練所を核とした農業での移住定住が進んでいる。就農してからも、技術・営農面や販売面等で伊達農業普及所、JA、東北農政局の指導を頂き、道の駅でマルシェを定期開催、新規就農者自らが新鮮な農産物を消費者に对面販売を実施している。さらに、訓練所の研修生などで、あつかし農友会を結成して新規就農者間の交流連携と情報交換などを行っている。新規就農者の心の拠り所になれるよう、引き続きこれらの取り組みを進めていく。

問 森江野にある農産物加工施設 Momocoの使用状況と現状について伺う。

農産物加工施設は、道の駅国見あつかしの

産業振興 農産物加工課 長 工施設は、

郷とともに平成29年から国見まちづくり株式会社にて指定管理をしている。今年度は、これまでに個人、団体で2回の利用があり、あんなやサクランボの1次加工などが行われた。また、見学等も個人・団体で8件あった。新規就農者からは、収穫した規格外の野菜を加工するために加工施設を利用したいとの声もいただいている。引き続き、国見まちづくり株式会社と連携し、利用促進を進めていきたい。

への農業経営意向アンケートの結果では平均年齢が70・6歳で後継者がいない方が7割を占めている。町では、くみに農業ビジネス訓練所や、地域おこし協力隊等を活用し、新規就農を目指す方を町外から呼びこむことで農業後継者の確保に努め

問 国見町の基幹産業は農業である。現在、農業後継者がいない農家が増加しているが町の取り組みや支援等について伺う。

農業は農業である。現在、農業後継者がいない農家が増加しているが町の取り組みや支援等について伺う。

産業振興 農業を取り巻く環境課 長

は大変厳しい。農業委員会で実施した農業者

への農業経営意向アンケートの結果では平均年齢が70・6歳で後継者がいない方が7割を占めている。町では、くみに農業ビジネス訓練所や、地域おこし協力隊等を活用し、新規就農を目指す方を町外から呼びこむことで農業後継者の確保に努め



くみに農業ビジネス訓練所

Q JR藤田駅前広場・観月台文化センター公園整備の総合的なまちづくり計画とは

A 使いやすい・憩いの場になるようなイメージで、令和6年度内の作成・公表を行う

認定こども園の整備について

問 第6次国見町総合計画は、施策3-1-1子育て支援の推進にある認定こども園の計画について

て、令和4年度第2回

審議会にて、認定こども園と9年制の小中一貫校を一体的に整備と変更訂正している。

教育施設課長の答弁のとおり凍結しているのであれば、再度、変更訂正は行わないの

か。

教育長

幅広く保護者の方、町民の方からお話を聞き、ある一定の方向性を出したうえで、必要に応じ修正したいと考えている。

問

くにみ幼稚園を視察した際に、元森江野小学校の1階のみを幼稚園で使っていて、2階は町の書庫として活用しているとのこと。

保育所と幼稚園を一つにする認定こども園だが、スロープ等で1



修繕が待たれている観月台公園

道の駅「あつかしの郷」の駐車場整備について

問 駐車場整備を行う際、町長の提案理由にもあったSDGs・交流人口・関係人口増加を図るため、充電施設を増設、水素ステーションを整備する事で、町として生きるまちづくりから、他に先を越させないで、脱炭素に取り組んでいるというPRができると思うが、町の考えを伺う。

また、まちづくり株式会社社の経営方針とも合わせて、町も一緒になって考えていくことが必要と思う。

産業振興課長

電気充電設備については、設置から間もなく7年を迎えるため、更新時期が近づいている。また、水素ステーションについては初期投資が電気充電設備よりも多額の数億円規模になるので、まずは電

気充電設備の増設を優先で検討する。確かに補助金・交付金があるにしても、水素ステーションを設置することだけではなく、ごみの減量化あるいはリサイクル、そういったことも、SDGsの一環であろうとも思っている。

先で検討する。

町長

また、まちづくり株式会社社の経営方針とも合わせて、町も一緒になって考えていくことが必要と思う。

水素ステーションにしても、充電施設にしても、民間の知見を我々も知る必要があると思うので、その際にはいろいろご教示いただければありがたい。

電気充電設備については、設置から間もなく7年を迎えるため、更新時期が近づいている。また、水素ステーションについては初期投資が電気充電設備よりも多額の数億円規模になるので、まずは電



道の駅国見あつかしの郷



蒲倉 孝議員

Q 歴史文化継承を支援するコミュニティ助成事業活用を促すべき

A 歴史・文化伝承の一助となるものであり、さらなる周知方法を検討する



渡辺勝弘議員

問 国見町歴史的風致維持向上計画が平成27年2月に認定されたが、活動内容が見えない。歴史まちづくりの現況と実績は。

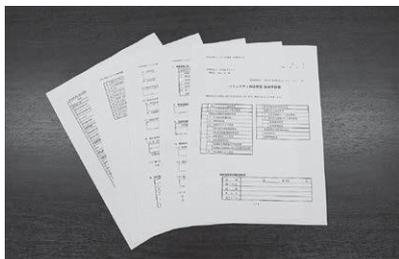
答 国見町歴史的風致維持向上計画が平成27年2月に認定されたが、活動内容が見えない。歴史まちづくりの現況と実績は。史イベント開催、歴史文化基本構想の策定など、ハード・ソフト両面で取り組んできた。

問 歴史・文化継承の一つとして祭礼があるが、歴史文化の保存・活用の観点で、町はどのような関わりをしたのか。

答 歴史・文化継承の一つとして祭礼があるが、歴史文化の保存・活用の観点で、町はどのような関わりをしたのか。町内各地で行われている祭礼は、その地区の歴史や風土を伝えるかけがえのないものである。有形無形を問わず、文化的価値を有するものについて文化財として指定し、保存・支援をしていきたい。

問 伝統ある山車や太鼓を維持することは、地域の大きな負担になっている。コミュニティ助成事業を活用することによって、歴史・伝統の継承に繋がるのではないか。

答 伝統ある山車や太鼓を維持することは、地域の大きな負担になっている。コミュニティ助成事業を活用することによって、歴史・伝統の継承に繋がるのではないか。町内各地で行われている祭礼は、その地区の歴史や風土を伝えるかけがえのないものである。有形無形を問わず、文化的価値を有するものについて文化財として指定し、保存・支援をしていきたい。



コミュニティ助成事業申請書類

問 このコミュニティ助成事業を多くの町民の方にも知ってもらう必要があるのではないか。

答 コミュニティ助成事業は、地域住民がコミュニティの活動促進を図るために利用できる事業である。祭礼等の備品購入などに活用し、コミュニティの維持や歴史伝承の一助になる。

問 能登半島地震の現状をみて、当町の防災及び対策は十分であるのか。

答 能登半島地震の現状をみて、当町の防災及び対策は十分であるのか。想定できる対応については講じているが、防災マップには、個人で取り組む内容が書かれている。再度、確認していただき、防災訓練と地震による意識向上を図る必要がある。

問 避難行動要支援者名簿を作成する上で町職員、民生委員の方や、福祉協議会職員の協力で

答 避難行動要支援者名簿を作成する上で町職員、民生委員の方や、福祉協議会職員の協力で。作成しているが、その後の対策は。名簿は年1回見直しを行い、町内会長、警察、消防団と共有。個人情報非公開者の情報についても有事の際は公開し、要支援者を避難誘導できるようにしている。

問 国見町は、最悪な状態を想定しながら大丈夫と言いつける強い意志を聞きたい。

答 国見町は、最悪な状態を想定しながら大丈夫と言いつける強い意志を聞きたい。経験値のある職員の知見を活用し、消防団と共に、町民の安心安全と命と財産を守って行く。そのためにも、ハードルの高い想定をして、訓練を行うことも必要である。

総務文教常任委員会活動報告

昨年12月定例会以降の委員会活動を報告いたします。

■令和5年12月27日

○福祉課所管事務調査(委員会室)

①国見町地域福祉計画②国見町自殺対策計画③第8次国見町障がい福祉計画④第10次国見町高齢者福祉計

画・第9期介護保険事業計画について、町執行部から説明を求め、質疑を行いました。

■令和6年3月4日

総務文教常任委員会(委員会室)

○請願陳情に関する審議
継続審査中であつた陳情第6号「健康保険証の廃止

を中止し、健康保険証の交付を求める意見書の提出を求める陳情」でありましたが、未だマイナンバーカードでのトラブルが続出しており、多くの患者さん、医療機関が不安を感じていることから、趣旨採択とすることに決定しました。

○閉会中の事務調査について
閉会中も引き続き実施することを決定しました。

高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会

高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会を次のとおり開催しました。(前回報告以降)

「第7回委員会」(1月11日)

前回証人喚問の検証について、第8回委員会の運営についてなどを協議しました。

「第4回幹事会」(1月19日)
受託者側関係者のヒアリングなどを行いました。

「第8回委員会」(1月22日)
受託者側の2名の証人喚問を行い、次回証人喚問についてなどを協議しました。

「第5回幹事会」(2月2日)
第9回委員会の運営についてなどを協議しました。

「第9回委員会」(2月2日)
次回委員会の運営についてなどを協議しました。

「第6回幹事会」(2月15日)
受託者側関係者のヒアリングなどを行いました。

「第10回委員会」(2月21日)

町長および受託者側1名の証人喚問を行い、前回証人喚問の検証および次回委員会の運営についてなどを協議しました。

「第11回委員会」(3月1日)
次回の証人喚問および参事者招致について、経費に關する決議についてなどを協議しました。

「第12回委員会」(3月6日)
次回証人喚問および参事者招致について協議しました。

「第13回委員会」(3月7日)
証人喚問の日程変更を協議しました。

産業建設常任委員会

■令和6年2月7日

住民防災課所管事務調査(伊達地方衛生処理組合)

伊達地方衛生処理組合の焼却灰等埋立地が限界を迎えるごみ処理現状と対応について現地調査を行いました。

新たな対応として建設する「ガス化溶融炉」は、1800度の高温で溶かす方式で、焼却灰等は現在の3分の1になり、溶融スラッグ等も資源再利用されるもの

です。また、新規稼働までは現埋立処分地の高上を図り対応します。質疑では現処分地の高上方法や容量、新規事業計画の事業費概要等の質問が出されました。

■令和6年2月7日

上下水道課所管事務調査(県北浄化センター)

令和元年10月12〜13日の台風により被災水没した県北浄化センターの、復旧後の現状を現地調査しました。

県北浄化センターは被災直後の緊急措置から簡易処置による応急復旧を経て、令和3年12月22日に本復旧しました。復旧事業費は約120億円でした。今回、未利用地の利活用に関する説明があり、42・6haの全施設面積のうち17・8haが未利用地で、将来の利活用のむけた市場調査を進めるとしています。

質疑では、未利用地維持費額、市場調査のあり方、環境を守る会と関係自治体との調整などについて活発な意見交換がなされました。

私の趣味と国見町

私ごとで恐縮ですが、趣味が2つあります。

1つ目は国見町の文化やお店を動画に収め、夕方のテレビ番組福島放送「シェア」にて紹介し、国見町の魅力を広める活動を行っております。

ふるさとシェアのコーナー開始から現在まで18回、国見町のあちこちを取材させて頂きました。撮影にご協力いただいた皆様ありがとうございます。

短かい時間のコーナーですが楽しみにご覧いただいている方が多く、視聴率も高いので知名度が上がるお手伝いになっていくかと思えます。



玉手美和さん
(西大枝中部町内会)

YouTubeにて「ふるさとシェア 国見町」で検索していただくと放送後も視聴できます。

2つ目は曹洞宗梅花講です。

国見町には44ヶ所の宗教法人があり、そのうち曹洞宗は9ヶ所、梅花講があるのは6ヶ所です。私は西大枝の西松寺にて地元の先輩方と共に練習に励んでおります。梅花とは、お釈迦様・両祖様の教えを鈴鐘を用いて唱えながら後世に伝えていく仏讃歌です。

経典の譜面は独特で作法や所作もあります。メロディーはとても美しく癒やされます。

自分でできる範囲ですが、これからも地元で受け継がれている文化を後世に伝えていきたいです。

議員活動報告

(令和5年12月定例会から令和6年3月定例会前まで)

12月5日	令和5年第7回定例会(～12/8) 総務文教常任委員会 産業建設常任委員会 高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会
12月6日	広報常任委員会
12月7日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会
12月8日	議会運営委員会 全員協議会
12月13日	広報常任委員会
12月16日	白藤会(福島市)
12月18日	広報常任委員会
12月19日	宮城県七ヶ浜町議会教育民生常任委員会視察研修
12月21日	伊達地方消防組合議会臨時会(伊達市)
12月22日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会
12月24日	あつかし山ビッグツリー点灯式
12月25日	公立藤田病院組合議会臨時会
12月26日	伊達地方衛生処理組合議会臨時会(伊達市) 伊達郡町村議会議長会正副議長事務局局長会議(福島市)
12月27日	例月出納検査 総務文教常任委員会
12月28日	広報常任委員会
1月4日	叙勲祝賀会・新春賀詞交歓会
1月7日	消防団出初式 はたちの成人のつどい
1月9日	交通三団体交通安全祈願祭(桑折町)
1月10日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会 広報常任委員会
1月11日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会 議会モニター審査会

1月19日	議員懇談会 議会改革推進会議 高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会
1月23日	総務文教常任委員会 議会モニター会議
1月24日	例月出納検査 議会運営委員会
1月25日	全員協議会 令和6年第1回臨時会
1月26日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会
1月27日	東京ふるさと国見会総会(東京都港区)
1月30日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査
1月31日	日赤福島県支部石川県能登地方地震災害義援金寄託(福島市) 福岡県吉富町議会視察研修(～2/1)
2月2日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会 高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会
2月5日	日赤福島県支部石川県能登地方地震災害義援金寄託(福島市)
2月7日	産業建設常任委員会(桑折町、伊達市)
2月15日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会
2月20日	公立藤田病院組合議会全員協議会
2月21日	議員懇談会 高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会
2月22日	福島地方水道用水供給企業団議会定例会(福島市) 議会運営委員会
2月26日	全員協議会 福島地方土地開発公社国見町評議員会 県町村議会議長会定期総会(福島市)
2月28日	例月出納検査
2月29日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査
3月1日	高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会幹事会 高規格救急自動車研究開発事業事務調査特別委員会

編集後記

今冬は、雪かきなし、冬タイヤ活躍なし、鍋の出番も少ない、本当に異様な暖かさで終わりそうである。冬に商売の大きなヤマを迎える方にとっては死活問題なのだ。先日先輩が「果樹も冬の厳しさ、負荷がないとダメなんだ」と話されていた。詳しく聞かなかったが、生き物は「ぬるま湯」だけでは立派に成長しないのだと、勝手に解釈している。

昨夏の異常高温そして今年の暖冬の要因は、地球温暖化の影響で間違いないだろう。

そう考えれば、SDGsの目標達成は不可欠なのだ。国レベルの対策、自治体レベルの対策、何よりも私たち一人一人がこの現実を素直に見つめ、家庭や個人でできる温暖化対策を意識して取り組む事が、今更ながら大切だと思う。

自然環境は人間と違い「ウソ」はつかないのだから。(佐藤 孝)

発行責任者	佐藤 定男
議長	佐藤 定男
広報常任委員長	蒲倉 孝
委員長	佐藤 多真恵
副委員長	佐藤 定男
委員	松浦 常雄
同	佐藤 孝
同	菊地 勝芳